

出前講座用フォーマット

分 野：「健康」

テ ー マ：幼児期のお口のことで気をつけて欲しいこと

職・氏名：歯科衛生学科 准教授 村田 宜彦

◆概 要：

幼児期の口腔保健は子どもの成長発達の点で非常に重要であり、かつその時期の状態が将来の口腔、ひいては全身の健康を左右することがあります。このような大切な時期における注意点やお口の疾患予防についてお話しします。

◆内 容：

近年の口腔疾患予防への関心の高さから虫歯の本数は年々減少傾向にあります。虫歯を新たにつくらないようにする過程には保護者の予防に対する惜しみない努力が存在すると考えられます。しかしながらいくら努力を重ねてもお口の中の環境は一人ひとり異なるため、画一的な予防方法ではすべての虫歯を防ぐことは不可能であったり、ほんの少しの知識の不足のため不運にも将来的に歯科疾患にて悩まなくてはならなくなる子ども達や保護者がみえます。子どもに虫歯ができてしまった結果、「こんなに努力してきたのに」「小さい頃と同じ方法で大丈夫だったから良いと思った」というような意見をよく耳にします。これは画一的な予防方法は十分習得されていると考えられますが、個人レベルでの環境に対応しきれなかった結果と思われます。このような思いをされないように従来からの画一的な予防方法はもちろんのこと、小児歯科専門医として患者さんと接してきた事例を踏まえ、様々なステージを考慮しカスタマイズした予防方法についてお話し致します。

◆出講可能な時間帯：

4月～7月(前期)・・・火曜日午後、金曜日午前・午後、

10月～1月(後期)・・・月曜日午前・午後、金曜日午後

(1) 専門分野…小児歯科学、顎・口腔機能学、口腔解剖学

(2) 主な担当科目…解剖学、口腔解剖学

(3) 一言メッセージ…日本小児歯科学会専門医であり、子どもの歯科治療を中心に行ってきました。未来ある子どもたちの健康を歯から考えてみませんか？